

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「基本を学び、地域と共に」

高田ロータリー今年の  
スローガン

「ロータリーを識り、  
奉仕を实践し友情を深めよう」



人類に  
奉仕する  
ロータリー

2016～2017年度

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム

2560地区ガバナー 田中 政春

高田ロータリー会長 本山 秀樹

幹事 中田 正

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員

加藤 卓也 伴 長門 斉藤 光雄 佐藤 芳徳

## 第42回例会 ■ 5月19日(金)

No.41

### 会長挨拶 ● 本山 秀樹



来週 23 日に「ファイヤーサイドミーティング」が開かれます。1935年に新入会員にロータリー情報を提供するために始められたものです。通称「炉辺会合」とも言われ、囲炉裏を囲みながらとなりますが、今風に言うと薪ストーブでも囲みながら新入会員と共にロータリーについて語り合う会でしょうか。2016年の規定審議会では、例会の頻度、場所、例会の形式、方法、会員資格などロータリークラブが柔軟に決定することが出来るようになりました。「ファイヤーサイドミーティング」も各クラブの特徴を活かし、通常の例会の中、あるいは夜例会で行うなど今後考えて見てはどうでしょうか。会員増強と絡め新入会員にとっても楽しい会にしたいものです。

今日の例会は、先日行われました2017-2018年度地区研修・協議会のクラブ協議会です。昨日も新理事役員・委員長会議が開かれました。国際ロータリー 2017-2018 年度イアン H.S. ライズリー会長のテーマは「ロータリー：変化をもたらす」です。そして、新保ガバナーエレクトの目標、地区運営方針をお聞きし、合わせて橋詰会長エレクトの目標、方針の発表がありました。明日は、新潟北ロータリークラブの40周年記念式典が開催されます。最後の周年事業なので楽しんで来たいと思います。

### 出席報告

出席率 98.18%

### メイクアップ

橋詰敏一君・羽深耕時君・大谷光夫君・水上喜芳君・

牧野章一君・高坂光一君・三井慶昭君・遠藤 巖君・石倉 悟君・飯塚宏佳君・大島 誠君・佐藤信明君・佐藤教彦君・チャールズ・C・ストラットン君・田中正人君（5/14 2017-18 年度地区研修・協議会）

山崎公一君（5/17 新井 RC にて卓話）

### 委員会報告

出席・ニコニコ BOX 委員会

橋詰敏一君——去る5月14日の地区研修・協議会を無事終え、3月のPETS（会長エレクト研修セミナー）と合せ、晴れてクラブ会長の資格を得る事ができました。来る7月1日からに向け体調万全にて臨みたいと思います。

米山奨学委員会——寄付のお願い

### 幹事報告

配布物：週報No.41

回覧物：ローターアクト地区ニュースレター

報告：米山奨学寄付金 BOX をまわします。ご協力お願いいたします。

### 6月例会プログラム

回	日	講演者：演題	会場
44	6月2日	会員卓話 佐藤 信明君 「葬儀の始まりはお釈迦さまのお父様の死」	デュオ・セレッソ
45	6月9日	会員卓話 島元 亨君 「演題 未定」	デュオ・セレッソ
46	6月16日	クラブ協議会	デュオ・セレッソ
47	6月23日	クラブ協議会	デュオ・セレッソ
48	6月30日	最終例会	デュオ・セレッソ

## クラブ協議会～2017-2018年度地区研修・協議会参加報告～ その1



### 橋詰会長エレクト

#### ○全体

去る5月14日(日)地区研修・協議会が新潟(ホテルオークラ新潟)で開催されました。当クラブからは、次年度役員並びに5大奉仕委員長総勢15名にて参加いたしました。地区での登録数は620名を超え、ホテルのメインフロアはロータリアンで溢れておりました。前半プログラムは、新保ガバナーエレクトよりRI会長イアンH.S.ライズリー氏のテーマ「ロータリー:変化をもたらす」の説明と新保年度の「クラブと地区の変革を目指そう」のテーマ発表が行われました。

基調講演ではRI研修リーダーの足立功一氏より「ロータリーのグローバル化と未来」と題し、国際ロータリーの現状と日本のロータリーの現状と課題をお話しいただき、(従来型)か(未来型)か選択の時が来ていると話されました。

後半は、各セッション(7つ)にわかれ、分野別の研修を行い、来るべき7月1日よりの新年度に向け、各委員長さんは思いを新たにされた事でしょう。

締めは、大懇親会で他クラブとの交流を行い、次年度への活力を得て、沈む夕日に友情を深めながら帰路につきました。

#### ○第1セッション

・新保年度の終点項目(会員増強・会員のMYROTARYへの登録・2,100本の植樹・公共イメージ向上等)の説明並びにクラブ戦略計画の立案を要望されました。

また、会員満足度アンケートについての評価を説明され、各クラブの対応の必要性を説かれました。

・続いて、地区会計規則改定案承認がされると共に、地区事務所固定化の進歩の状況が作業部会長より説明がなされました。



### SAA 大谷次期委員長

只今、会長が申したとおりです。

### クラブ奉仕 牧野次期委員長(田中次期幹事代読)

クラブ奉仕委員会では、新たに委員会小委員会が設けられました。

これは、クラブ会員満足度アンケートを実施し、それを基に各クラブ独自の戦略計画を立案できるように奨励し、情報の提供に努めることを目的としています。「クラブ戦略計画立案推進」今まではない未知の領域に踏み込む活動となります。その他、「地域内クラブ同士の親睦」、例として合同ファイヤーミーティングが上げられました。また、「広報、公共イメージの向上」など3つのテーマ推進が示されました。

次に、第2部会員増強について、会員増強委員会から「増強リスト」等具体的で示唆に富む話をいただきました。



### 会員増強委員会 三井次期委員長

新潟南RCは、会員が一時期36名までに減少したが現在は、120名程度となり大幅増員を図り、新潟地区では、最大の会員数となりました。

会員増強の秘訣は、クラブ全体で危機感を共有して、増員のための全体会議を立ち上げて会員一人ひとりが協力し、会員増強に努めた結果であり、新潟南RCを参考にすることが増強に繋がります。



### 職業奉仕委員会 羽深次期委員長

地区会員増強の担当もしており、クラブにおける会員の現状として、100人以上が1クラブ、90人～100人未満が2クラブ、60人～90人未満が3クラブ、残りが2人～60人未満が全体の70%であります。高田RCは、上位から5番目に位置しています。会員増強は、比較的小クラブに会員増強を図って頂くことをお願いしたい。高田RCとしては、委員長と一丸となって会員増強を目指して頂きたい。

また、短期、中期、長期の計画ビジョンに沿って積極的な企業訪問を行い、新しい会員増強に努めて頂きたい。

## ロータリーの友5月号より 前号からのつづき

しかし、藩主が良い人だからといって、当時、10万人くらいいた米沢藩の人たちが一つになれるわけではありません。彼らの足並みをそろえることができたのは、教育がありました。

財政立て直しのために始めた儉約ですが、やはりつらいものですから、5か年計画などと期限を設定しました。ただし、鷹山自身は死ぬまで一度も儉約を緩めませんでした。

米沢の人たちが儉約として取り組んだことが、感謝の心を育てることになりました。やはり、経済と道徳は切り離して考えるはいけないのです。住んでいる人がお互い感謝する、こんな社会は良い社会に決まっています。最終的に、お互いを尊重し合える社会になっていく、これが鷹山の生涯掛けて進めてきた訓えでした。

米沢の人たちは一丸となって育ったのです。それが一丸となった改革ということなのです。